



君達を送る時、一条の涙

中部地区医師会会長
安里 哲好

初めての経験であった。中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校卒業式は厳かの中に、凛として、清楚に執り行われた。入学式の時、一期生80名の君達を迎え、その半年後に、少ない人数で文化祭を催した。2年目は、座学から病院実習に移る2年目の折り返しの時期に、私にとって、まさに感動的な一瞬であった宣誓式に参列した。看護学生たちは講堂の舞台に作った壇の上で、灯した蠟燭を両手で持ち、薄暗闇の中で言葉を出して誓ったのか、灯火の光の下で「病める人たちと常に共にある」と心に誓ったのであろう。3年目の今年、平成23年3月10日に、一期生75名（男性5名）の卒業式を迎えた。清楚で美しい若い人たちの旅立ちであった。社会に飛び立つ君達を送る時、卒業生代表の答辞を聞き、万感の思いが込み上げて来て、一条の涙が右の頬を流れた。左側に座っていた校長は涙で目の前が霞んでいたのではなかろうか。それにしても、卒業生の全員が白衣姿で臨み、整然として行われた卒業式であった。起立して歩く姿、お辞儀や証書授与の折の立ち振る舞は、華やかな表現をすれば宝塚風で、違う表現をすれば防衛大学校風とでも表しようか。私は激励の挨拶と、学校内外で社会活動を積極的に行い、リーダーとしての資質の高い卒業生に対して医師会長賞を授与した。

昆布の地（看護専門学校の所在地）は緑と広い空間、そして坂を下って正門に入る際に、右方の眼下に太平洋の大海原が目に入るぐらいで、その他何もないところである。校舎と講堂は広く、公園も隣にあるが、地理的に社会との繋がりが希薄で半閉鎖的な地域である。それ故、学ぶ者にとっての良い環境であろうと思う

が、一期生は寂しさを紛らわすかのように、年齢の違う仲間同士で共に未来を語り合ったのであろう。答辞の中にも述べていたが、病気をした学友、妊娠出産した学友、そして親の病死等乗り越えてきた学友らと共に励ましあい、連帯意識が自然と芽生え、同志としての強い意識が培われてきたのであろう。2年目の後半から学外での医療機関での実習がほとんどの様だが、学校に帰って来て、更に学習すること。基礎分野360時間、専門基礎分野540時間、専門分野1,000時間、臨地実習1,035時間を短い3年間で学び単位を取得している。3学年の終わりの期間は、早朝に、夕に、教員の指導のもとに国家試験に臨んだとのこと。校長をはじめ全教員、講師の方々、実習施設の関係者の方々に心から感謝すると同時に、一期生全員の合格の吉報を心待ちにしていた。

中部地域における看護師養成は、県立コザ看護学校（昭和21年沖縄中央病院付属看護学校創立、昭和34年琉球政府立コザ看護学校として独立し、復帰後県立となる）が平成3年に県立那覇看護学校へ統廃合され、その後現県立看護大学へ統合されている。医療・看護教育のメッカであった中部地域における看護学校の復活は、地域の方々の強い要望でもあり、会員の悲願でもあった。中部地区医師会前会長の金城進先生が中心となり、平成12年3月の第48期中部地区医師会臨時総会において中部地域に看護専門学校新設が全会一致で承認された。多くの苦難を乗り越えて、開設にまで8年の年月を要し平成20年4月に開校した。開設の際、ご指導、ご協力いただいた方々に、改めて感謝申し上げる。

看護専門学校のお披露目もあって、平成21年度の地区医師会連絡協議会は同校の講堂で開き、終了後に施設を見学し、学生食堂で昼食を取った。学校までの道程を示す標識は小さく、道は迷路にて、たどりつくのに難渋したとの声があったが、校舎・講堂や環境整備に対してはお褒めの言葉を多く頂いた。一方、会議の中で、宮古・八重山地区の看護学生の地域枠の意

見がでて、医師会立看護学校において前向きに検討することになった。ぐしかわ看護専門学校は、平成24年度から、久米島町も含め4～5名の地域推薦枠を設定する予定である。

今年も、新しい80名の学生が入学し、その中の20%は男性であった。「諸君の目指す看護師の仕事は、心身の健康を病む人の心のより所であり、希望の灯火です。勉学にはげみ、仲間と語り合い共に歩み、健康で充実した3年間で本校で過ごし、将来、看護師になった諸君が、患者さんに信頼され、地域で献身的な活動をさ

れることを心から希望している」と激励の挨拶を述べた。短い期間（3年間）における看護学生教育は、膨大な知識を集中的に取得させ、それに加えてグループ・ワークやコミュニケーション・スキル等についての粘り強い指導を要し、そして、底流に流れる看護理念を骨肉のごとく自我と一体になるよう導いて行く事かなと感じつつ、緩やかではあるが大きく成長して社会に旅立つ際の輝いている卒業生の姿をみる感動の中で、3年間の労苦が癒され幸せな気持ちに包まれる時を教員と共に享受した。



中部地区医師会会長表彰



卒業証書並びに称号授与



巣立つ卒業生



卒業の日を迎え祝福